

元気で活気ある白石市に

平成21年度

施政方針



発言者

2月13日、第377回白石市議会定例会で、風間康
静市長が施政方針演説を行い、平成21年度の市政運営
の基本的な考え方を明らかにしました。
3年目となる「4万人都市復活大作戦」。厳しい財
政状況が続く中で、どのように進めていくのでし
ょうか。その内容から取り組みを抜粋します。

総務課 22-1331

■ふたつの重点項目

●地域医療の確立

公立刈田総合病院は、市民の生命と健康を守る砦であり、白石のまちづくりを進める上で、欠かせない施設です。

市民の皆さんが安心して暮らすことができるよう、医師の招へいに全力で取り組むとともに地域医療ネットワークの確立を目指し、病院の健全な運営を図ります。

●工業団地の造成と企業誘致

工業団地の造成については、世界経済の悪化から厳しい環境にはありますが、工業団地の完成に2年を要するため、来るべき時に備えることが求められていると思っております。

また、本年4月から機構改革により、市内企業へのサポート体制の充実を図るとともに、積極的な企業誘致に向けた「企業立地推進室」を創設し、本市への企業立地促進のための環境整備に努め、産業の振興と雇用の拡大を目指します。そして、私自身がさまざまな機会をとらえトップセールスを行うことはもちろん、宮城県をはじめ関係機関と連携し、市議会の皆さまと一緒に積極的に取り組みます。

■しあわせあふれるやさしいまち

子どもを産み、育てやすい環境をつくるとともに、高齢者の方や障害を持った方でも生きがいを持って楽しく暮らすことができるまちを目指します。

●子育て支援

子どもたちは地域の宝であり、安心して子育てできるまちづくりのための施策を充実させ、町中に子どもたちの笑い声がふれるまちを目指します。

妊婦健診14回の無料化や体外受精などの不妊治療を受ける場合の医療費の一部助成、保育園と幼稚園の保育料の軽減などによる経済的支援を行うほか、放課後子どもプランを拡大します。

●高齢者支援

高齢者が生きがいを持って活動できるよう介護予防への取り組みを一層推進するとともに、介護が必要になっても個人の生活や意思が尊重され、必要な介護サービスを利用できるような、やさしいまちづくりを推進します。

●障害者福祉

昨年度設置した「仙南地域自立支援協議会」と連携をとりな

公立刈田総合病院は市民の生命と健康を守る砦



公立刈田総合病院

4万人都市復活大作戦

■ろまんただよう城下町

白石城を中心とする歴史や宮城蔵王の雄大な大自然、城下町ならではの風情を生かし、共に学び、共に支えあう活気ある地域づくりを推進します。

●歴史のまちづくり

白石城を核としたさまざまなイベントや白石城歴史探訪ミュージアムなどでの展示会を開催し、片倉小十郎の城下町をアピールします。

さらに、城下町回遊ルート、城下広場、すまいるひろばを積極的に活用し、城下町白石への誘客を図り、中心市街地のにぎわいを創出します。

●文化のまちづくり

地域づくりに取り組む小規模な団体を支援するとともに、これらの団体を各種市民活動への協力と育成に努めるほか、ネットワークの輪を広げ文化のまちづくりを進めます。

また、地区公民館が行う文化、

スポーツの生涯学習などの発展を目指して実施する事業を支援し、にぎわいと活力のあるまちづくりを進めます。

●姉妹友好都市交流

次代を担う青少年の交流に主眼を置き、スポーツ・文化活動を中心にホームステイなどにより交流親善を図るとともに、国際感覚豊かな青少年を育成する事業を展開します。

●生涯学習のまちづくり

市民が生涯学習に接する機会を広く設け、活力ある「ひとづくり」「まちづくり」を図ります。ホワイトキューブでは音楽や演芸、スポーツ、碧水園では茶道講座などを開講するほか、古典芸能の普及振興を目的とした事業を行い、多彩な生涯学習の場を提供します。

また、スポーツ少年団の活動を支援するとともに、誰でも気軽に楽しめるニュースポーツの普及を促進し、青少年のスポーツ振興と健全育成を図ります。

■いきいきのびのびまち

定住促進、雇用の確保、そして観光振興による夢や希望の持てる次世代のまちづくりを推進します。

●定住促進と地域の活性化

本年度から、定住促進奨励金交付事業に加え、新たな住宅政策として、定住希望者に鷹巣特定公共賃貸住宅を優先的に提供し、家賃の一部を補助します。

また、市内の民間住宅に居住する、新婚家庭への家賃の一部を補助する制度や、18歳未満の子どもが3人以上いる世帯が市営住宅に入居を希望した場合、優先的に入居できる制度をつくります。

そして、これらの住宅政策を市内外にアピールするなどして、定住促進を強力に進めます。

●観光の振興

昨年の仙台・宮城デスティネーションキャンペーンを検証するとともに、ポストD.C.に向けてJ.R.、宮城県をはじめとする関係機関との連携を図りながら白石の自然・歴史・文化などの魅力を広く紹介し、観光ビジュアル活動の充実に努め、誘客を図ります。

さらに、昨年整備した「小十

がら、障害者が自分らしく自立した生活ができるように、障害者福祉サービスと地域生活支援事業の充実を図ります。

●教育の充実

児童、生徒の学習活動の支援を継続実施するとともに、ホワイトキューブでのイベントなどを積極的に活用した音楽とのふれあいの場を創造します。また、家庭の果たす役割の重要性を再認識するため、家族団らんにつながる機会を持つ日として「白石市家庭の日」を創設します。

雇用拡大を図るための工業団地を造成するため、ボーリングを行い地質調査を実施中（3月25日撮影・福岡深谷地区）

